

給食だより

えがおのじかん



令和元年度 1月号
丹波山村学校
給食センター
栄養教諭：小林



新しい年を迎え、三学期もスタートしました。まだまだ寒さの厳しい1月。温かいものを食べ、体の中から温めることを心がけましょう。

今年度も安心・安全に気をつけて、給食センター職員一同、頑張っておいしい

給食作りに努めます。引き続きよろしくお願いいたします！



☆ 1月の給食目標 ☆ 『日本の食文化を知ろう』

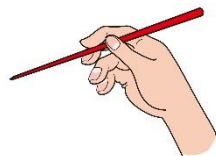
文化とは、それぞれの土地に人々が暮らしていくなかで、生み出され伝わってきた生活の仕方のことです。その中で、食に関して受け継がれてきたものを「食文化」といいます。日本には世界に誇る、大切にしていきたい食文化があります。

お箸の持ち方を確認しよう！



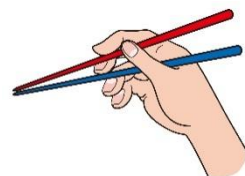
お箸の持ち方で食べ物の味が変わるわけではないし、お腹の中に入っただけでは持ち方などなんでもいいのかもありません。しかし、お箸には古くから使われてきた伝統があります。その長い伝統の中で受け継がれてきた箸使いこそが、最も合理的で見た目も美しいお箸の持ち方といえるのではないのでしょうか。

箸の片方を、親指のつけねから中指と人差し指の間へ通す。



もう一本を、親指のつけねと薬指の第一関節の上で渡して固定する。

上の箸を上下に動かしたとき、箸の先がぴったりそろるのがよい。



ぜんこく がっこう きゅうしょく しゅうかん 全国学校給食週間

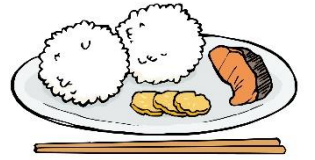
【学校給食のはじまり】明治22年(今から約120年前)、

山形県の小学校で、家庭が貧しくお弁当を持ってこられない子

どもたちのために無料で食事を提供したのがはじまりと言わ

れています。その後、全国で実施されるようになりましたが、戦争による食糧不足で

中止されてしまいました。



【全国学校給食週間とは】戦争が終わり、子どもたちの栄養不足を改善する

ために、外国などからの援助で給食が再開されました。昭和21

年(今から約70年前)12月24日に新しい学校給食が始まっ

たので「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みに入っ

たため、一か月後の1月24日からの一週間を「全国学校

給食週間」とすることが決まりました。

【学校給食の役割】学校給食は、子どもたちの飢えを救うもので

したが、現在では偏った栄養摂取による子どもたちの健康状態が心配

されることから、バランスのよい食事のお手本として「生きた教材」

の役割を担っています。



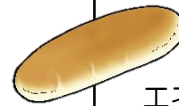
1月の献立表でも紹介しています！

むかし 昔の給食ってどんなもの？

昭和25年ごろ

コッパン

エネルギーを補うため、大きなコッパンでした。



昭和20~50年ごろ

クジラいようい

昔は価格が安かったため、よく登場しました。



昭和20~30年ごろ

ミルク

牛乳ではなく、牛乳から脂肪分を除いて粉にした脱脂粉乳に、砂糖などを入れて温めたもの。

